

平成22年8月刊行

全国3128自治体の訪問活動記録
桜庭康喜（元北海道名寄市長）が歩いた8年6ヶ月

消えたマチ 生まれたマチ

～平成の大合併に揺れた市区町村の本音～

「平成大合併の動きが活発になっていた。3000余の自治体活動訪問は時間との戦いとなった。当時、全国市町村は3234所在したが、活動中に合併が進み、結果的に3128市町村の訪問となり、107の自治体が消滅していた。」（はじめにより）

「懇談をした多くの首長は、平成の大合併の大義に、大きな疑問と苦悩を話してくれた。平成の合併には『明確な目標』がなく、…財政破綻の回避を求める『理念なき合併』であり、…まさに『貧民連合』の強制で、木を見て森を見ない愚策、と自嘲的に話してくれた首長の顔が強く印象に残っている。」（あとがきより）

☆スタート 1997年1月6日～19日、沖縄県 18市町村を訪問。
1997年3月22日～4月1日、鹿児島県・離島 22市町村を訪問
1997年7月21日～27日、長崎県・離島 県内と離島の一部未訪問

↓

2005年5月31日～6月4日、島根県、隠岐の島4町村訪問
2005年6月7日～13日、東京都島しょ4村 三宅・御蔵・利島・新島訪問
☆ゴール 2005年6月20日～26日、沖縄県 南大東・北大東・伊江村訪問

著者 桜庭 康喜(さくらば やすき 元北海道名寄市長)

A5版 約740ページ(二分冊)
頒価 2500円

発行 全国市町村訪問記録編纂委員会

購入申込み・お問合せは、北海道地方自治研究所(編纂委員会の事務局)へ

〒060-0806 札幌市北区北6西7 自治労会館

電話 011-747-4666 ファックス 011-747-4667

Eメール info@hokkaido-jichiken.jp